

事業所名

ワンライフ MINOKAMO

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

2月

1日

法人（事業所）理念		一度きりの人生を豊かにしよう												
支援方針		小集団の中でも、個別にかかわる時間を大切にした支援を心掛けています。また、ブラジルを主とした多国籍のお子様も利用されているため、お子様・保護者様も安心して話すことができる場を提供しています。お子様・保護者様のニーズにも応えられるように資格のあるスタッフが支援方法を共有し、総合的に支援が行えるように努めています。												
営業時間		平日	10 13	時	00 40	分から	12 17	時	00 40	分まで	送迎実施の有無	○あり なし		
		土日祝	9 14	時	00 30	分から	12 17	時	30 00	分まで				
支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	子ども達が日常生活の基本的な活動に必要なスキルを身につけられるように支援します。例えば手洗いや排泄、身だしなみを整えるなどです。各自のペースと個別のニーズを大切にしながら自立と自主性の向上を目指して取り組んでいます。												
	運動・感覚	姿勢や上肢・下肢を意識した身体を動かす活動を通じて子ども達の身体意識の発達の支援をします。さらに、手作業を通じた触覚の刺激により探求心や感覚の発達を促します。												
	認知・行動	様々な遊びを通して、そのルールを学ぶことで社会性を学ぶことができるように支援をしています。日常生活や学習をサポートしながら社会性・行動的スキルの向上や情緒の安定などを目指します。												
	言語 コミュニケーション	就学期に必要な言語力やコミュニケーション能力を向上することができるように相手を意識した言葉の選択や話しかけるタイミングなどを総体的に習得することができようように支援しています。また、読み書きのスキルの向上ができるようにアイコンタクト、指さし、文章構成の仕方などを一人一人に合わせて練習しています。												
	人間関係 社会性	お子様と職員の信頼関係を構築していき、その信頼関係を基盤として周囲の友達と安心した関係を形成できるように支援します。また、相談しやすい環境を提供いたします。一人遊びの状態から、職員が仲介して行う連動的な遊び、ルールのある協同的な遊びを段階を踏んで社会性をはぐくんでいきます。												
家族支援		・お様の発達状況や特性の理解に向けた相談援助を行ったり、言語面で不安がある場合には可能な限りサポートしたりしています					移行支援			・進学や就職などの移行先の選択についてお子様やご家族への相談援助、移行に向けた支援を行っています				
地域支援・地域連携		・学校や相談支援事業所と連絡を取り、お様の発達支援に関する共有や気になっている点等、密に共有しています ・天気の良い日には中山道会館などお出かけし、挨拶をしたり、昔の遊びをしたりして地域との関わりをつくっています					職員の質の向上			・毎月事業所研修を通じて、知識や現場で使いやすい技術を学んでいます ・日々朝礼等のミーティングで支援の状況や目標を確認し、コミュニケーションをとるように努めています				
主な行事等		フェスタジュニア(ブラジルの農民祭)、夏祭り、七夕、ハロウィン、クッキング等、多国籍のお子様もいるためその文化を感じられたり、日本の文化を感じられたり、五感を感じられるようなイベントを実施しています。また、イベント開催時には利用者様のきょうだいやご家族にもイベントに参加できる機会の提供を行っています。												